

第14号

ペインティング・ジャーナル

かわら版

壁や天井の壁紙塗替えて部屋の中を簡単にイメージチェンジ

部屋の中の壁や天井などの壁紙の汚れやタバコのシミや臭いが気になったらリフォーム時期。

そんな時、今貼ってある壁紙をはがさずに上から塗ることもできる「壁紙塗替え」が意外と簡単です。

塗るだけで部屋も明るくなり、快適でさわやかな空間に生まれかわります。



Before



After

用意するもの

- (養生・保護) …… ポリシート、マスキングテープ、マスカー、ポリ手袋、布ウエス(ボロきれ)
 (はけ類) …… ハケ、ローラー、ローラーバケット
 (塗料類) …… 水性屋内壁用塗料、ヤニ・アク止めシーラー(ヤニなどの汚れを固める下塗り材)

HINT めくれ上がった壁紙は、あらかじめ接着剤などで貼り付けておきます。

1 養生する1



壁のほこりなどをきれいに拭き、マスキングテープ、マスカー、ポリシートなどを使って壁紙の周りを養生します。

2 養生する2



天井も塗る場合は、床面を全面ポリシートで覆います。

3 塗装する(下塗り/境、隅など)



マスキングテープを貼った境目からハケでヤニ・アク止めシーラーを塗っていく。ハケの長さの半分に塗料をつけるのがコツ。

4 塗装する(下塗り/全体)



ローラーを上下にコロコロ転がしながら、少しずつ移動し全体塗っていきます。

※塗料の希釈等は、塗料の説明書にしたがって下さい。

5 塗装する(上塗り)

下塗りが乾いたら、下塗りと同様にして上塗りを塗ります。

6 塗装する(色分け塗り)



塗り分けをする場合、上部の面が乾いたら逆にマスキングし、別の色をハケとローラーを使って塗り分けます。

7 仕上げ



塗装終了後、塗料が完全に乾く前にマスキングテープ、ポリシートを回りを汚さない様に注意しながら取り除きます。

スプレー塗料缶の処理について



スプレー缶
(エアゾール缶)

必ず中身を 使い切りましょう!!



中身の残ったスプレー缶がゴミに出され、ゴミ収集車両や
ゴミ処理施設で火災が発生しています。

正しいゴミへの出し方 4ステップ!!

ステップ 1

缶を手で振って
中身の有無を
確認して下さい。



ステップ 2

「シャカシャカ」
「チャブチャブ」
などの音がしたら、
まだ中身が残っています。
必ず使いきりましょう。

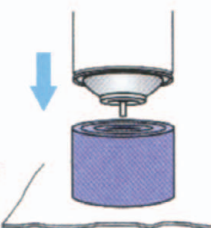


ステップ 3

音がなくても、まだ中身やガスが
残っている場合があります。

**「ガス抜きキャップ」で
出し切ってください。**

※火気のない風通しの良い屋外で行ってください。
※「ガス抜きキャップ」がない場合は、スプレーボタンを
押して完全に押し切ってください。
※「ガス抜きキャップ」の使用方法は商品に記載された
使用説明を必ずご覧ください。



ステップ 4

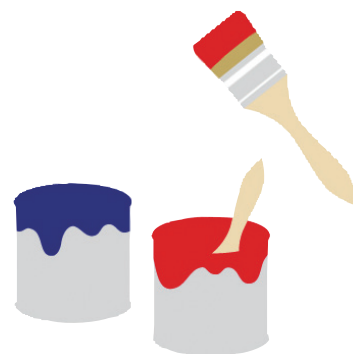
地域の
ゴミ出しルールを
守って出しましょう



※使用済みエアゾール缶の処理方法については、右記URLでご確認ください。 <http://www.toryo.or.jp/jp/anzen/news/spray.html>



塗料を使用する前に、
容器に記載されている
注意事項等を良く読み、
必ず順守して下さい。



塗装中や塗装後も、
塗料が完全に乾くまで、
良く換気しておきましょう。